

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○少人数の強みを生かして、個に応じた指導を行い、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせ、主体的に学習する力を伸ばすための指導の実践  
 ○話し合い活動を充実させ、根拠を明らかにして自分の考えを論理的に説明する能力を身に付けた生徒の育成

木頭中学校  
「学力向上実行プラン」

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 谷口 拓馬  
 委員 校長:中島 功 教頭:小泉 博嗣  
 教務主任・第1学年主任・人権主事・生徒指導主事:龍田 祐貴

校長

中島 功

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能が身に付いており、授業中の課題に対して前向きに取り組める生徒が多い。	・基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる。 ・習得した知識と既習の知識が関連付けられ、他の学習の場面でも教科横断的に知識を活用することができる。	・個に応じた指導の工夫や、課題を個別に与えるなど、少人数の特性を生かした授業を行う。 ・他教科、他校種の教員による相互の授業参観を通して、学習の系統性、教科横断的な内容を意識した授業を行う。	・演習の時間を取り、知識・技能の定着を図らせる。 ・単元ごとなどに小テストなどを実施し、それを活用して理解度を見とる。	・教員間の授業参観や、高校との連携などで、横断的な取り組みを実施できた。 ・毎週、小テストや教科書以外の教材を使い、能力の育成をしている教科もあった。 ・理解度に沿った課題の配布はできなかった。	・個別のカルテを作成し、取り入れる。 ・他教科・他校種の授業参観を踏まえて、実際にどのように生かされたか振り返りを行う。 ・授業の進度も踏まえて、演習の時間をとる。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の感想・意見を自分の言葉で表現することができる。 ●資料から読み取った内容を自分の意見を書くなど「活用する力」が乏しい生徒が多い。	・教科横断的に知識を活用し、自分の考えを根拠や理由を明らかにしながら説明したり、書いたりして伝えることができる。	・GIGA スクールで導入されたソフトウェアを効果的に使い、自分の考えを整理したり、根拠や理由を明確にしたりして伝え合う活動を増やし、「活用する力」を付けるための学習指導を行う。	・「書く」だけにとどまらず、話したり、表現したりする活動を通して、思考力・判断力・表現力の育成を行う。	・端末を使い、資料の作成、発表までを行う教科も見られた。 ・基礎的な知識・技能を用いて、自分の意見をまとめたり、作文を書いたりする等の表現力の育成ができた。 ・授業の中で、表現する時間の確保が課題である。	・端末の効果的な使い方について研修等を実施し、授業モデルを考える。 ・記述問題を実施後、個別に対応する。 ・根拠や理由を明確にして、伝え合う活動を増やし、慣れさせる。 ・教材研究を通して、思考・判断・表現する力の育成法を考え、実践する。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○各授業へ意欲的に取り組み、積極的に発表することができる。 ●家庭学習習慣が身に付いておらず、自ら課題を見付け、主体的、計画的に学習に取り組む姿勢が身に付いていない生徒が多い。	・主体的、計画的に家庭学習や課題に取り組むことができる。 ・将来に対する目的意識をもち、努力することができる。 ・自分の意見を積極的に発言することができる。	・教科横断的にキャリア教育を行い、将来の夢や目標をもてるような授業を行う。 ・テスト後にはやり直しをする時間を取り、次回、間違えなようにするための工夫を個人で考えさせ、レポートにまとめさせる。	・単元ごとのゴールを定め、提示、生徒が見通しをもって学びに向かうことができるような手立てを行う。	・テスト後のやり直しに時間をかけることができた。また、やり直しのレポートを作成している教科もあった。 ・将来に対する目的意識を持たせることや、家庭学習の定着には課題が残った。	・将来の夢や目標について、キャリア教育やふるさと学習を通して、動機付けを行う。 ・学習に取り組む目的を生徒とともに考え、テストまでの期間や1年間、3年間の学習の見通しをもたせる。 ・主体的に取り組めるような発問の工夫を行う。

